

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 31 日

事業所名 オールケア寝屋川

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		日々の整理整頓にて物の配置を考えている。	更に安全に使用できるスペースが確保できるよう整理整頓に努める。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		重心(医療的ケア)に対応しているため、必須以上の人員を確保するため求人を行うと共に他部署との連携を図り対応している。	人員配置は満たしているが、今後も以上の体制がとれるよう連携を図る。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		建設時にバリアフリーにしている。	危険が無いよう環境整備に努める。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		年間目標を制定し、会議にて周知と振り返りを行っている。	PDCAサイクルについて更にスタッフへ周知していく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		アンケートやモニタリング時に頂いた意見を活用し、改善に努めている。	アンケート結果をスタッフにも周知し改善に努める。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページにて公表している。	スタッフにも周知していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>		法人内の内部監査にて業務改善に取り組んでいる。	内部監査の評価結果にて業務改善に努める。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		事業所内研修や外部研修があれば周知し参加している。	今後も積極的に参加し、共有する場を設ける。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		定期的な面談にてお聞きしたニーズをスタッフに周知し計画に反映できるよう努めている。	いただいた課題やニーズをスタッフ間で共有し、計画に反映させていく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		契約時にアセスメントシートを作成し、必要時更新している。	手順書などツールの統一化を図り、より把握できるよう努める。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		スタッフ間で話し合い立案している。	より具体的な内容を立て周知していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		長期休暇など時間があるときには就業日にできない活動を取り入れるよう工夫している。	更に様々な取り組みができるよう工夫していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		<input type="radio"/>	会議にてスタッフ同士で提案している。	きめ細やかな支援ができるよう努める。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		個々の特性を把握し、個別支援計画に組み込んでいる。	状況に合わせて、より具体的な内容を決めていく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼にて確認している。	更に具体的に支援内容、注意点などを共有していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		終礼で話し合ってい振り返りを行っているが、全スタッフとはいかない為、議事録を利用している。	更に密な情報の共有に努める。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		行った支援を記録し支援の検証を行っている。	日々の記録を参考に次の課題へと繋げていく。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		定期的なモニタリングに加え、必要時には送迎時等に必要性の確認をとっている。	今後も定期的なモニタリングを行い、計画の見直しの必要の有無を考えていく。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	<input type="radio"/>		個々の状態も考慮したうえで組み合わせ、計画を立てて支援を行っている。	スタッフとも共有し合いながら、バランスを考え総則の内容に沿った支援を行う。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者はじめ、日頃から関わっているスタッフや看護師が参加している。	今後もサービス向上の為、相応しい者が担当者会議に参加していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の年間行事等を把握し、保護者との連携を図り連絡調整に努めている。	今後も学校や保護者との連携を密に行い、学校送迎時の先生との情報交換なども行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		家族を介して主治医の指示書をいただいている。	指示書の更新、変更等確認していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		事業所見学等、必要時にはお話もお聞きするが、現在コロナ禍で難しいことがある。	保護者同意の上、見学や情報共有ができよりよい支援に繋げられるよう努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		グループ内では見学や一日体験を設け、他事業所に関しても必要であれば情報交換の場を設けている。	今後も個人情報に十分配慮しながら、保護者了承の上、提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関へは必要に応じて助言や研修を受けている。	研修で習得したことは、スタッフにも周知していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナ禍でより難しい現状になっている。	できる方法を思案していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		以前は通所連絡会等に参加していたが、コロナ禍になり開催なし。	状況に応じて今後も積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		経過記録や送迎時等に直接お話を聞き、日ごろの様子やご希望を聞けるようにしている。	今後も保護者との連携を図り、共通理解を持てるよう努める。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要時には行っている。	今後も必要に応じ、適切な対応をしていく。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書等により説明を行っている。	変更時はお手紙や直接説明できるよう努める。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリングや送迎時に対応している。	必要時に応じて、その都度時間を設けて対応していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍でより難しい現状ではあり、希望されない保護者もおられる。	希望者には参観等、コロナの状態を見ながらできる事を開催できるようにしたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		報告があれば責任者や役職者が迅速に対応できるよう努めている。	今後も迅速に対応できるよう努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		不定期ではあるが、ホームページのブログやInstagramを使用し、事業内容を発信している。	今後は積極的に配信していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		配慮している。	スタッフに対しても注意喚起していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コロナ禍前は行事を行い招待状やチラシの配布を行っていた。	地域に根ざす事業所になるよう努める。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		契約時に説明し、変更があればその都度お手紙にて周知している。	それぞれのマニュアルも作成している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		安全管理委員会が主となり災害を想定した訓練を行っている。	継続し行い、前回の反省点を活かした次の訓練へつなげていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部研修から持ち帰り、毎年研修を行っている。	今後も研修を行い、スタッフの意識向上に努める。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		定期的に必要性を考え、個別支援計画にも記載している。	契約時や必要時には、保護者にも説明を行い記録も残していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者の聞き取りと、意思の指示書にて把握している。	今後も保護者からの聞き取りを行い、変化があれば随時対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		安全管理委員会などでも話し合い、周知できるようファイリングしている。	今後もスタッフ間で周知し、事故防止に努める。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表： 2023年3月31日

事業所名 オールケア寝屋川 保護者等数(児童数) 18人 回収数 14人 割合 77.77%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	0	最近の様子を見れていない	日頃より整理整頓に努め、活動スペースの確保を工夫している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1	0	0		基準を満たした職員配置を行っている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	0	0	0		建物を建てる際、バリアフリーにしている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	0	0	0		スタッフ間にて周知し、個々にあった計画・支援を行うよう努めている。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	0		時々、個々に合った活動を常に工夫していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	7	4		あまり必要性を感じない。時勢柄難しいと思う。	長期休暇などに近隣公園への散歩を取り入れている。家族様により希望されないこともあるため、配慮していく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1	0	0	いつも丁寧にモニタリングや面談があり安心していきます。	契約時や変更時には説明している。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	0	0	普段の様子も利用日に丁寧に教えて下さり有難いです。	今後も経過記録(ノート)記載や送迎時、必要時には電話での連携ができるようにする。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	0	0	0		モニタリング以外でも送迎時等で育児についての問いかけをしていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	9	3	0	必要性を感じていません。	希望される方には、様々な取り組みを提案し、できることをしていきたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2	0	0		今後も苦情やクレームがあった場合は、迅速に問題点と改善点を出し、対応していく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0	0		必要時、経過記録での記入や送迎時の伝達、場合によっては電話での申し送りに努めている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3	0	0		今後もイベント時にはブログや機関誌の更新を行っていく。
14 個人情報に十分注意しているか	14	0	0	0		契約時に個人情報の同意書をいただき、細心の注意を払う。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2	0	1		今後、マニュアル化したものをホームページ等で発信していく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1	0	2		月に1回の訓練を継続し、職員間でも災害について話し合いを設けていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0	0	親子ともに楽しみにしています。	利用児様、個々に合った状況を考え、質の向上に努める。
	18 事業所の支援に満足しているか	14	0	0	0	親子ともに大変満足しています。	ご意見いただいたことが利用者の方々に思っていただけのように、今後も工夫と努力をする。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。